

0644

昭三、 一、二、四、五、	月日時	死	場所	事由	認識票 番号	種	官年級	氏名	添付書類
			山西箇五公 石溝村附近	昭和十五年十月四日山西箇五 台奥石溝村附近、戦闘、 際生死不明トナル 別紙確認書、如ク死體發 見セザルモ戦死ト確認	歩伍 番一三〇	後 備	昭三、二回 歩伍 (歩上)	奥泉菊雄	確認書一

左

記

今次事變ニ於ケル當隊所屬(當時歩兵第百七聯隊)生死不明者左記ノ角
死亡確認シ昭和十五年七月五日陸密第一三三四號ニ依リ當時聯隊長
大佐死亡確認書(別紙)、通報告ス

陸軍大臣東條英機殿

歩兵第百七聯隊長 塘 眞 策

生死不明者死亡確認ニ関スル件報告

歩七師第三號

金澤師團
司令部

昭和十五年十二月七日
第二九號



生死不明者戰死確認書

所屬及官氏名
第百九師團步兵第百七聯隊第十二中隊

陸軍歩兵伍長 奥泉 菊 雄

一 生死不明トナリタル日時場所
昭和十三年十一月四日午前五時〇分頃

於中華民國山西省五台縣石溝村附近

二 生死不明トナリタル前後ノ狀況

第三大隊ハ十一月三日山西省五台縣北高洪口村ノ敵共産軍ヲ討伐シ其ノ歸途午前十一時頃石溝村附近ニ於テ敵ニ遭遇シ之ヲ攻撃ス翌四日午前三時頃大隊本部ハ敵ノ逆襲ヲ受ケ之ヲ撃退スレ共本部附桑原伍長ハ重傷ス此ノ時大隊本部附對空連絡兵タリシ奥泉藏谷西上等兵ハ同伍長ノ護送ヲ命ゼラレ同伍長ヲ護送シ漸ク收容所ニ到着スルヤ同所モ亦敵ノ逆襲ヲ受クル處トナリ止ムナク更ニ大隊本部ニ引返サントシテ藏谷上等兵患者ヲ背負ヒ奥泉上等兵之ヲ警戒シツツ脱出ス藏谷上等兵本部ニ到着スレ共奥泉上等兵來ラズ種々調査セシモ生死判明セズ(當時ノ狀況別紙原圖ノ如シ)

三 巴ニ採リタル捜査手帳

戰鬪終了後種々捜査ノ結果既ニ後送セラレタル第九中隊孫田一等兵ヨリ次ノ報ニ接ス 四日午前四時半頃患者收容所ヨリ本部ニ到ラントスル途中約三百ノ敵ト衝突シ此時恰度

本部傳令與泉上等兵他一名(氏名不明)ト遭ヒ三名協力シ之ノ敵ニ應戦セシモ泉上等兵ハ敵彈ノ為壯烈ナル戦死ヲ遂ゲタリ尚此時自分ハ負傷シテ後送セラレ

右報ニ接スルヤ死體收容ノ為十一月六日戦鬪地附近一帯ニ亘リ捜索スルモ死體發見スル能ハズ孫田一等兵ハ逐次後送セラレ連絡不能ニシテ在支中ニ詳細ナル連絡ヲ取ル能ハズ

其ノ後内地還送セラレ金澤陸軍病院泉野分院ニ收容セラレアルヲ承知シ同病院長ヲ經テ為念照會致シタルニ同院長ヨリ別紙寫ノ如キ同人ノ聞取書ヲ送付セラレタリ

四 確認ノ理由 性温順ニシテ責任觀念旺盛思想亦堅確一面霸氣アリ過去數次ノ戦鬪ニ於テモ常ニ積極的難ニ赴キ且ツ勇敢ニ行動セリ

當時モ亦患者護送ノ任務達成ヲ為敵重圍下ヲ脱出セシムル為ニ敵ニ遭遇シ幸ニシテ通り合セタル孫田一等兵ト共ニ應

敵ニ遭遇シ幸ニシテ通り合セタル孫田一等兵ト共ニ應

0647

戦シ死體發見セザルモ別紙聞取書ノ通り昭和十三年十一月
四日午前五時頃中華民国山西省五台縣石溝村附近ニ於テ
死セシモノト確認ス

昭和十五年十月二十日

元歩兵第百七聯隊長

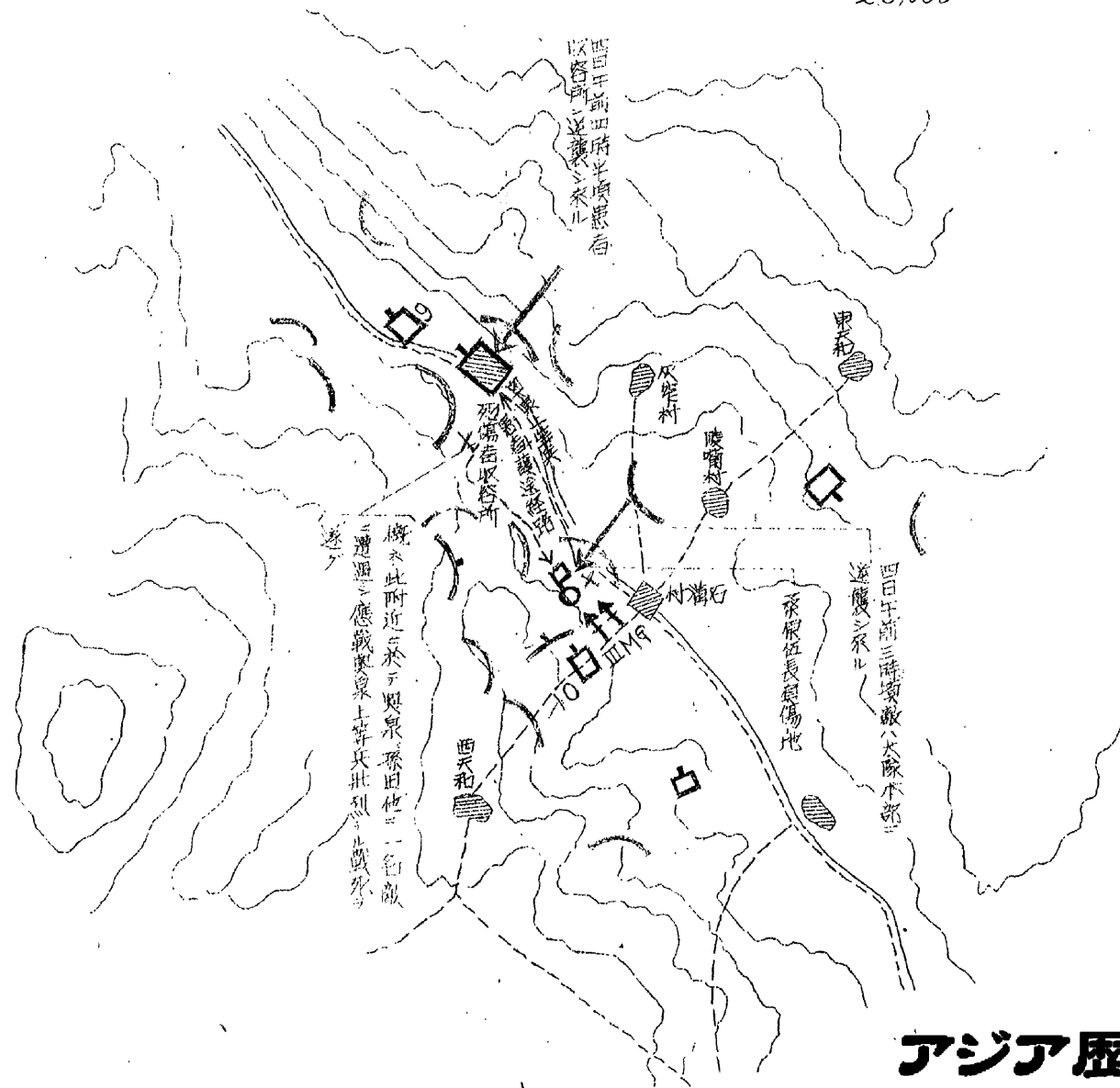
川崎

瑚

徳

圖要關戰隊大第三夜日四月一十於

1 / 25,000



聞取書寫

二 供述者

元第百九師團歩兵第百七聯隊第九中隊
現第九師團歩兵第七聯隊補充隊
（金澤陸軍病院泉野臨時分院入院戰傷患者）
豫備役陸軍歩兵一第兵 孫田 勘

右ノ者ヨリ第百九師團歩兵第百七聯隊第十二中隊（當時第三大隊本部附傳令）陸軍歩兵上等兵奥泉菊雄ノ戦死當時本人ノ目撃シタル情况ヲ供述セル處左ノ如シ

左記

聞取主文

一 奥泉上等兵ヲ知ルコト

昭和十三年十一月四日午前四時頃孫田勘一第兵ハ戦場ヲ受ケ中隊ノ位置ニ歸ラムトシタル途申友軍ノ一傳令ニ會ヒ誰カト尋ネタルニ本部附傳令奥泉菊雄上等兵ト云ヒ

初メテ知リタリ
二 戦闘シタル年月日

昭和十三年十一月四日

三 戦死シタル地點

中華民國山西省五台縣石溝村附近ト思フ

四 戦死シタル時間

昭和十三年十一月四日午前四時過

五 其ノ他詳細ナル情況

孫田勘一ノ一軍兵ハ受傷後中隊ノ位置ニ歸ラントスル途
 前記ノ通り與泉菊雄上軍兵ニ會ヒ間髪ヲ入レズニ敵三百
 餘名ノ大部隊ノ襲撃ヲ受ケ直ニ與泉菊雄上軍兵ト共ニ
 他中隊三名ト協力山地ヲ利シテ應戦ス 敵ハ我攻撃ニ
 逐次退却スルモ尚ニ三十名ノ敵ハ頑強ニ我ニ抵抗接近十
 米突前ニ迫リ盛ニ手榴彈ヲ投ズ友軍ハ既ニ彈丸少ナク戦
 友ト彈丸ノ補充ニ努メ戦闘繼續中不幸小銃彈一彈ハ泉
 菊雄上等兵ノ腹部ヲ貫通シ其ノ場ニバツタリト倒レ
 天皇陛下 萬歳ヲ連呼シツ、受傷ニヒルマズ眼前ノ敵ト
 激戦態戦苦闘十数分後又モヤ数十ノ手榴彈ノ内一手榴彈
 ハ泉上等兵ノ身邊ニ炸裂シ無念ノ一言ヲ最後トシ即
 死護國ノ人柱トナシレ華々シク最後ヲ遂ゲラレタリ此ノ

1990

戦闘中敵死體ハ無数我友軍ハ奥泉菊雄上等兵ト他ニ一名計
ニ名ノ犠牲者ヲ出シタ事ハ誠ニ残念デアリマシタ
右本人ノ供述シタル通りヲ聞取り筆記ス

昭和十四年一月十九日

金澤陸軍病院泉野臨時分院長

陸軍軍醫中佐

中川 善松